第 9 回表浜シンポジウム「渥美半島津波防災シンポジウム」報告

日時：平成 24 年 5 月 13 日(土) 13：00～17：30
場所：赤羽根文化会館　大会議室（愛知県田原市赤羽根町）
参加者数：約 150 名
主催：NPO 法人表浜ネットワーク
共催：豊橋技術科学大学 安全安心地域共創リサーチセンター
協力：東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター・豊橋サーフィン協会・田原サーフィン協会・ブレイズサーフ
後援：愛知県・田原市・豊橋市

平成 24 年 5 月 13 日，NPO 法人表浜ネットワーク主催，安全安心地域共創リサーチセンターの共催で，第 9 回表浜シンポジウム「渥美半島津波防災シンポ ジウム」が赤羽根文化会館にて開催されました。本シンポジウムでは，東日本大震災の報告や渥美半島の過去の災害事例を通じて，表浜における津波・地震防災 の問題点や地域の防災体制の今後について考えました。

第 1 部では，講演者から過去から現在までの様々な地震・津波被害の情報が提供されました。宇多高明氏（土木研究センターなぎさ総合研究室長）は東日本大 震災における津波被害の報告を通じて，生き残るための避難行動の重要性を強調されました。藤城信幸氏（田原市立和地小学校校長）は，貴重な史書や写真と地 質研究から得られた渥美半島の成り立ちと津波・地震の災害について，貴重な情報を提供いただきました。渥美半島における集落高台移転の歴史は非常に新鮮で した。青木伸一教授（大阪大学，豊橋技術科学大学客員教授）は，遠州灘にやって来る海岸利用者（主にはサーファー）にとっての地震・津波に対して問題を提 起していただきました。休日ともなると数千人にもなる遠州灘の海岸利用者の避難に対して地元地域はどうあるべきか，いくつかのアイデアを提案されました。

第 2 部では，田中雄二氏（NPO 法人表浜ネットワーク代表）をファシリテーター，先の講演者と目崎茂和教授（南山大学，三重大学名誉教授），窪川かおる 特任教授（東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター），丹羽淑博准教授（東京大学理学系研究科地球惑星科学専攻/海洋教育促進研究センター）， 浦野明央氏（北海道サケネットワーク代表，北海道大学名誉教授）をパネラーに，渥美半島における防災対策の在り方，避難について参加者を交えて活発な議論 が行われました。

宇多氏による講演

藤城氏による講演

青木教授による講演

パネルディスカッションの様子